

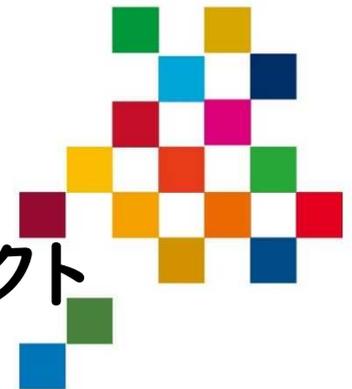


SDGsを体現する

# 「ひょうごフィールドパビリオン」

を核とした地域価値創造、交流人口創出プロジェクト

～ Our Field , Our SDGs ～



SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



兵庫県

Hyogo Prefecture



# 提案の趣旨



万博の意義 人類共通の課題解決（アイデア）を発信する場

兵庫では、歴史も風土も異なる個性豊かな五国において、地域の人々が主体的に課題解決に取り組み、未来を切り拓いてきた

- 阪神・淡路大震災からの **創造的復興**
- 人と環境にやさしい **循環型農業**
- 豊饒な大地や海に育まれた **食材**
- 挑戦を繰り返してきた **地場産業**
- 郷土の自然と暮らしの中で受け継がれてきた **芸術文化**



こうした取組には、世界が持続可能な発展を遂げていくための多くのヒントが秘められている

## 大阪・関西万博に合わせ、「ひょうごフィールドパビリオン」を展開

兵庫県全体をパビリオンに見立て、地域の「活動の現場そのもの（フィールド）」を地域の人々が主体となって発信し、多くの人を誘い、見て、学び、体験していただく「ひょうごフィールドパビリオン」を全県で展開

[兵庫が取り組んできたテーマ例]  
震災復興／地場産業／農林水産業  
健康と食／芸術文化／まちづくり

× SDGs



テーマ

**Our Field, Our SDGs**

私たちのフィールド、私たちのSDGs

**経済** 地域産業の継承・発展

**社会** シビックプライドの醸成

**環境** 持続可能なライフスタイルの構築

**定住・交流人口の増加  
持続可能な地域の実現**



# モデル事業の概要



## 経済



相乗効果(経済→社会)  
雇用創出による人材の確保

### 挑戦を繰り返す地域産業の発信

- ① 地場産業のSDGs促進によるブランド化・オープンファクトリー実施のための環境整備
- ② 多彩な地域遺産を巡るツアーの造成、鳴門の渦潮世界遺産登録に向けた取組促進
- ③ 但馬牛、山田錦のブランド化・供給力向上



相乗効果(経済→環境)  
SDGs推進による環境負荷の低減

相乗効果(環境→経済)  
企業ブランド向上、進出企業の増加



相乗効果(社会→経済)  
多彩で優良な人材の持続的供給

<三側面をつなぐ統合的取組>  
**大阪・関西万博を端緒に世界へ発信「ひょうごフィールドパビリオン」**

- ◆ 県・市町・地域団体等の協働体制の構築
- ◆ プログラムの発掘・ブラッシュアップ
- ◆ 広報・プロモーション
  - ① トップセールスによる海外PR、現地旅行博への出展等
  - ② 万博会場や兵庫県立美術館での最新映像技術を用いた情報発信・誘客促進
  - ③ フィールドパビリオンと連動したシンポジウム等の開催

## 環境



### 経済と環境の好循環の実現

- ① 地域循環共生圏による自立・分散型社会の形成、次世代モビリティ・水素エネルギーの導入促進
- ② コウノトリ育む農法など環境創造型農業の拡大、耕畜連携の体制構築・取組促進
- ③ 失われた自然環境の回復と創造(尼崎21世紀の森構想に基づく環境改善・都市再生、六甲山の環境整備・体験型ツーリズムの実施、上山高原の保全・モデルツアーの造成)
- ④ 豊かで美しい瀬戸内海再生に向けた藻場・干潟の保全、ブルーカーボンの先進的活用

相乗効果(社会→環境)  
持続可能なライフスタイルの構築

相乗効果(環境→社会)  
住環境の改善、地域の魅力向上

## 社会



### 安全安心でこころ豊かに暮らせる地域づくり

- ① 創造的復興の理念の国内外(ウクライナ・トルコ等)への発信・防災ツーリズムの展開
- ② ユニバーサルツーリズムの推進に向けた環境整備
- ③ 先端医療技術を実感する体験型コンテンツの造成
- ④ スマートコミュニティの実現に向けたデジタル技術の地域実装
- ⑤ 兵庫の芸術文化を発信する多言語ポータルサイト



ひょうごフィールドパビリオン  
**Our Field, Our SDGs**  
私たちのフィールド、私たちのSDGs



# 統合的取組の概要



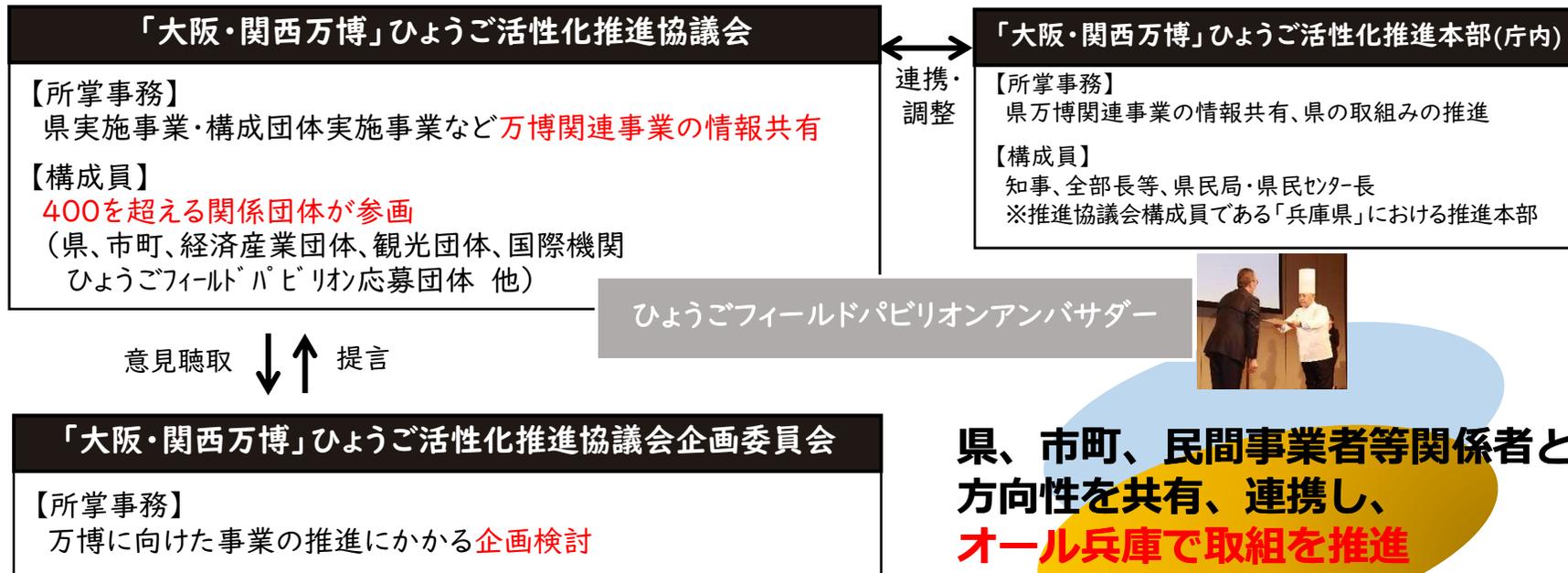
## 1. 推進体制

- ① 県内41市町長、関係団体等が参画する推進協議会を設置し、万博関連事業の情報共有による機運醸成を行う
- ② 推進協議会に企画委員会を設置し、各事業展開にかかる企画を立案
- ③ ひょうごフィールドパビリオンのプロモーションに向けて、取組に精通し、ストーリーテラーとなりうる人物をアンバサダーとして任命



▲「大阪・関西万博」ひょうご活性化推進協議会 (R5.3.28)  
(出席者:368名)

### <推進体制>





# 統合的取組の概要



## 2. 事業スキーム

プログラム

### ◇ SDGs体験型地域プログラムの募集

SDGsを推進し、地域の課題解決に向けて各地域で特色ある資源を活かした体験型・周遊滞在型プログラム、又はその素材となり得るプログラム (=SDGs体験型地域プログラム) を募集

- ① 基準を満たすものを認定 ※  
(第1次認定(2/7):113プログラム)
- ② プレミア・プログラムを5つ選定(3/28)



※万博までの間に随時認定予定

県のアクション  
(万博前)

誘客プログラムの  
魅力向上をサポート

国内外への  
プロモーション

MICE等で利用促進  
プレッシャー等で活用

県のアクション  
(万博中)

大阪・関西万博  
兵庫棟(仮称)で情報発信

県立美術館ギャラリー棟  
等で情報発信

県内各地域のコンテンツを  
情報発信

認定プログラムを「ひょうごフィールドパビリオン」として展開



# 統合的取組の概要



## 3. SDGs体験型地域プログラム

分野		件数	具体例
経済	食	12	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 世界の舌を魅了する神戸ビーフ、その歴史と取組 [神戸市]</li><li>◆ 食用コオロギを用いたタンパク質循環システムの構築 [神河町]</li></ul>
	経済・地場産業	30	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 「日本六古窯」丹波焼の里を訪ねる [丹波篠山市]</li><li>◆ 兵庫・神戸の真珠産業・文化の魅力体験 [神戸市]</li><li>◆ 新発見!デザイナーtamaki niimelによる播州織のものづくり体験 [西脇市]</li></ul>
	農林水産	13	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 海底耕耘等豊かな海づくりに触れる坊勢島漁業体験 [姫路市]</li><li>◆ 「和牛のふるさと」ルーツを訪ねて(但馬牛) [香美町]</li><li>◆ 酒米の王者山田錦テロワールツーリズム [三木市]</li><li>◆ 自然循環農法体験(アイガモ) [新温泉町]</li></ul>
社会	震災復興	4	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ あなたの命を守るBOUSAI体験・学習プログラム [神戸市]</li><li>◆ 防災ツーリズム推進事業(E-ディフェンス等) [三木市他]</li></ul>
	文化・芸術	24	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 豊岡演劇祭ではじめる持続可能なまちづくり [豊岡市他]</li><li>◆ 伝統工芸「皆田和紙」の紙漉き体験 [佐用町]</li></ul>
環境	自然・環境	30	<ul style="list-style-type: none"><li>◆ 地熱エネルギーを活用した「湯がき体験」 [新温泉町]</li><li>◆ 国生み神話ゆかりの沼島の暮らし・文化体験クルーズ [南あわじ市]</li><li>◆ 野生復帰したコウノトリを育む循環型農業体験 [豊岡市]</li><li>◆ 食品残渣等を活用した地エネの酒「環(めぐる)」体験 [神戸市]</li></ul>
		113	



# 統合的取組の概要



## 4. プログラム例

### 「和牛のふるさと」ルーツを訪ねて

#### ◆テーマ性

- 「和牛」のルーツは兵庫県但馬地域の山村「小代」の**但馬牛**。但馬牛は元々農業を助け、子牛が産まれれば売って収入をもたらし、人々は家族同然に取り扱ってきた。
- 地域内の血統にこだわり、山深さゆえ純血のままで残っていた小代の但馬牛。肉質の良さから、各地の和牛改良に利用され、**全国の黒毛和牛の99.9%が小代で生まれた田尻号という但馬牛の子孫**といわれる。
- 全国に先駆けて**牛籍簿**を整備。これが血統登録の基礎となり、全国の和牛改良の先頭に立つ地域となる。
- また、但馬地域では春から秋にかけて牛の自然放牧を行っており、草原の維持や耕作放棄地の解消を通じて、地域の土壌の豊かさや生物多様性の保全に貢献している。

#### ◆プログラム概要

山間地域の農耕作業において、大切にされてきた但馬牛とともに歩んできた暮らしぶりを、住民自ら案内し、訪問者に伝え、体験してもらい、他にはない**特徴をもった地域の魅力を発信**



牛籍簿



但馬牛の自然放牧



但馬

### 新発見!デザイナーtamaki niimeによる播州織のものづくり体験

#### ◆テーマ性

- 播州織は80年代以降、生産拠点の海外移行により、活力が失われてきた。近年では、大量生産から小ロット多品種化、**最終製品生産の高付加価値化への転換**を進めている。
- **播州織作家・玉木新雄氏はその第一人者**。新たな時代の女性像を創出・体現する思いでブランドを立ち上げ、現在では、綿花栽培からデザイン、機織り、製品化、販売まで一貫生産し、**一点モノのモノづくり**で世界展開を図っている。
- 更に、地域を巻き込んだ廃工場のリノベーションや端布を糸に再生する「反毛」などの取組は、**サステナブルな地域づくりの視座**を与える。

#### ◆プログラム概要

耕作放棄地などを活用した綿花栽培にはじまり、一点モノを大量生産するコンセプトに基づいた**創意工夫や付加価値の向上**を図るための生地づくりから製品になるまでの**全工程が見られる工場見学**のほか、縫製加工の**体験型ワークショップ**等を実施



「千し」工程



「育てる、つくる、食べる」つなぐワークショップ



播磨



# 統合的取組の概要



## 防災ツーリズム推進事業

### ◆テーマ性

- 1997年1月17日の阪神・淡路大震災により、兵庫は壊滅的な打撃を受けた。ここから立ち上がる過程で提唱されたのが「**創造的復興**」。
- 単に震災前の状態に戻すのではなく、21世紀の成熟社会にふさわしい復興を遂げるその理念は、**東日本大震災**や**熊本地震**でも提唱され、2015年国連防災世界会議でも仙台防災枠組の一つとして行動目標に採択。
- また、大震災を契機に、兵庫では自然災害に対する日常的な備えが浸透し、社会的仕組みが整備された。
- 世界に対し、兵庫が得た教訓をヒントとして提供することは、創造的復興の過程で兵庫が国内外から受けた支援に対する最大の恩返しである。

### ◆プログラム概要

人と防災未来センターにおいて、大震災の被災を知る語り部が、震災の恐怖と創造的復興への取組を語るほか、ガイドツアーやバーチャルな震災体験等を実施



語り部



ガイドボランティア



神戸

## インバウンド高付加価値旅行者向け「コウノトリツーリズム『EN』」

### ◆テーマ性

- **野生のコウノトリの最後の生息地であった豊岡市**。営巣に適した松の大量伐採や、農薬の使用でエサがなくなったことなどから、1971年を最後に日本からその姿が見られなくなった。
- 兵庫県の友好都市・ハバロフスク地方(ロシア)から6羽の幼鳥の人工飼育と併せ、農業者有志による**減農薬・無農薬農業**の取組や、行政による水路や河川の生物生息環境の改善など、地域が一体となった取組が進められた。小学校の児童もコウノトリ育むお米を給食で提供するよう無農薬米の消費拡大に向けて活動した。結果、2005年にはついに野生への放鳥が実現するまでに繁殖し、現在では**野生個体が300羽**を超える。
- 一度は絶滅したコウノトリの野生復帰から、地域全体で維持できるサステイナブルな環境づくりは、多様性の維持と持続可能な地域づくりへの視座を与える。

### ◆プログラム概要

ガイドと巡る野生のコウノトリに会いに行く街中散策、専門家による湿地の案内などコウノトリを軸に来訪者の志向性に合わせた旅を提供。



コウノトリ



但馬



# 3側面の相乗効果



## 経済

- 地場産業の継承・発展
- 交流人口の増加
- 企業・産業の誘致
- 企業ブランドの向上
- 若者の県内就職の増加

## 社会

- シビックプライドの醸成
- 定住人口の増加
- 住環境の改善、  
地域の魅力向上



## 環境

- 持続可能なライフスタイルの構築
- 環境負荷の低減
- 環境に取り組む人材・団体の増加



# 自律的好循環に向けて



## 1. 前提

大阪・関西万博の開催にあわせて、自治体主導でイベント等を開催する手法であれば、一過性の取組に終わってしまう。

これに対し、「ひょうごフィールドパビリオン」は、地域で活動する人々が主体となって展開する取組であり、万博後も継続して取組を深化させることで、地域の持続可能性を高めていくものである。

## 2. 自律的好循環のイメージ





# Our Field, Our SDGs

## 私たちのフィールド、 私たちのSDGs

世界共通の17の目標。  
世界中で様々な取り組みが行われている。  
でも実は、  
自らの地域を豊かにする取り組みこそ、  
世界が持続可能な発展を遂げていくヒントが秘められているのだ。



兵庫県

Hyogo Prefecture